

あなたは
私の内におられたのに
私は自分の外にいて
そこであなたを捜し求めました
そして、あなたのお造りになつた
被造物の美しさに魅せられて
私はそれに飛びつき
醜くも自らをおとしめていったの
です
あなたは私と共にいてくださつた
のに
私はあなたと共にいませんでした
被造物の美しさは
私をあなたから遠く引き離しまし
た
もしあなたが創造されなかつたら
いまだに存在さえしてはいないはず
のはかない美に
私はとらえられたのです
あなたは大声で叫びを上げ
私の聞こえない耳を突き破りまし
た
あなたは、ほのかな光、そしてま
ぶしい輝きで、私の見えない目か
ら闇を取り払ってくださいました
今、私はあなたの良い香りをいっ
ぱい吸い込み
あなたをあえぎ求めます
あなたの味を知つた私は
あなたを求めて飢え渴きますあな
たに触れられた私は
あなたの平和を
求めて燃え上がります」

『クリスチャンとして
思う母の気持ち』

宮崎 ローズ

二〇〇七年一月十四日。私にとつ
て二人目の孫「サラ」が、洗礼を
授かりました。今は、ただただ、
安堵の気持ちでいっぱいです。

この日をなんとか迎えることが
でき、無事に洗礼を受けられまし
たことは、娘婿の承諾や家族のサ
ポートを得る事ができたからで、
神様に感謝しております。

フィリピンでは、クリスチャン
の家庭ならば自らの子供にキリス
ト教信者として成長するように願
い、信者教育を受けさせるのが当
然という考えがあります。私は、
そういう環境で育つたため、子供
にそうするように努め、また子供
だけでなく、孫にも同じことをす
るのが義務と思つています。

ですから、娘と息子が洗礼・堅
信を受けられたことは、本当に嬉
しかったですし、孫のキラも洗礼
を受けられた事は、本当に感謝で

す。そして今回はサラの洗礼も授
かることができ、何か祖母として
の役目を果たせたという感じで満
足し、また感謝しています。

しかし、日本で育つた娘は、フィ
リピンの習慣を当然と考えませ
るので、堅信式後教会から足が遠の
いてしまいました。これは私にとつ
てはとても残念なことです。

そんな中で、孫に洗礼を授ける
よう話をした時、娘が反対しなかつ
た事は、私にとつて大きな恵みで
あると感じました。サラの洗礼を
授かる前、娘は何度かシスター高
良と面談をして洗礼の準備するこ
とになりました。その時、娘婿も
承諾して一緒に準備したのですが、
なんだか楽しそうな様子でした。

サラの洗礼を授かりホツとして
いる今、家族には元気でいてほし
いと願っています。
娘は、孫たちが大きくなつたら日
曜学校に入りたいと話しており、
私は嬉しく思います。

実は私には、昔から願っている
夢があります。それは、家族全員

で毎週日曜日教会に行つて、家族
並んでミサに授かることです。

ところが家族の悩みは尽きるこ
となく、私の考える計画は思い通
りにはいかないことがたくさんあ
ります。それでも日常生活の中で
親子共々、成長しているような気
がします。例えば、教会になか
か足を運ぶ事のできない子どもた
ちに悩んでいましたが、よくよく
見ると、キリスト教の精神で生き
ているなあということに気付いた
り、シヨックな出来事があつても
夫のアドバイスや見守る態度、友
人の祈りで「事実を受けとめる」
ことが徐々にできるようなつた
ことなどがあります。私の信者生
活に対する夫の理解には、本当に
感謝です。

いろいろな事がありますが、神
様は、少しずつ私の夢をかなえて
くださっているような気がしてい
ます。

神様とお祈りをしてくださった
皆様に感謝！

